民設民営による「移住者向け賃貸住宅」が誕生しました

空き家バンクとは
空き家を売買または賃貸物件として、町が運営する移住ポータルサイト等で紹介し、物件購入または賃貸希望者とのマッチングを支援する制度

町内には賃貸の集合住宅が少なく、空き家バンクに登録されている物件も売買が中心のため、移住のハードルが高いことが課題となっていました。

この度、空き家の買い取りや販売を手がける「空き家買取専科」が、空き家バンクの物件を購入して賃貸住宅として提供を始めました。これを受け、9月5日と6日に物件の内覧会を開催しました。本町で民間事業者による空き家バンク物件の活用は、今回が初めての取り組みです。

1階和室

風呂

内覧会の様子

川根本町役場
経営戦略課
定住・移住推進室
小笠原 聡 室長

町外から移住を希望される方の多くは、まず賃貸住宅に住んで町の雰囲気を確かめてから、将来的に物件を購入したいと考えています。しかし、空き家バンクには賃貸住宅が少ないことが課題でした。そこで空き家買取専科さんに相談したところ、賃貸物件の取り扱いを始めていただくことができました。

今後も、さまざまな取り組みを通じて移住促進に力を入れてまいります。

「川根本町空き家バンク」登録物件はこちらからチェック！

空き家買取専科
石川 優治 取締役

当社は、空き家を地域の大切な資源と考え新しい価値を創り出すことで、関係機関と連携しながら地域の可能性を広げていきたいと考えています。

今回「川根本町から賃貸住宅が不足している」という相談を受け、空き家バンクに登録されている物件を購入してリノベーションを行い、賃貸住宅として提供を始めました。この取り組みが、町への移住促進につながることを期待しています。